



基礎を耐震改修補強した事例

簡易耐震診断の結果、総合評点が0.53のため、『倒壊または大破壊の危険があります』となり、総合評点を1.05にする耐震改修補強工事を実施した事例。

(\*工法により施工方法は異なります。)

- 建築年度：昭和45年度
- 改修年度：平成27年度
- 構造/階数：木造2階建
- 延べ面積：約67㎡
- 改修費用：約340万円（消費税込）
- 工事内容の概要
  - 壁耐震補強数：5箇所
  - 基礎補強数：4箇所
  - 柱金物等補強数：9箇所
  - 屋根の軽量化

備考

—

総合評点

木造住宅の簡易耐震診断は、地盤・基礎、建物形状、壁の配置（偏心）、筋違、壁の割合（壁量）、老朽度の各項目についてそれぞれの状況により評点をつけた上で、各評点を掛け合わせて総合評点を求めます。総合評点と判定の関係は以下のとおりです。

総合評点	判定
1.5以上	安全です
1.0以上1.5未満	一応安全です
0.7以上1.0未満	やや危険です
0.7未満	倒壊または大破壊の危険があります

耐震改修工事前の状況

工事順番①



改修概要  
基礎のひび割れ状況

耐震改修工事完了の状況

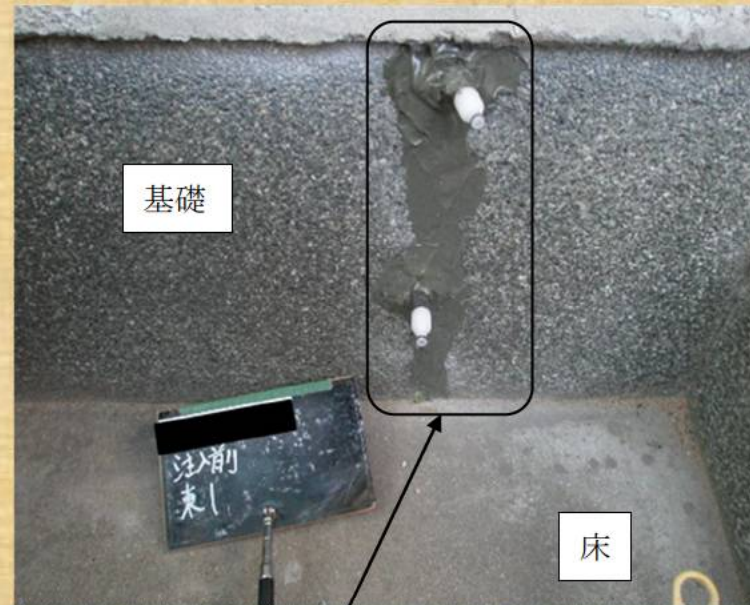
工事順番③



改修概要  
基礎補強工事完了

耐震改修工事中の状況

工事順番②



改修概要  
基礎補強工事状況